

令和2年度

横芝光町決算審査意見書

病院事業会計

横芝光町監査委員

横 監 第 1 6 号
令和 3 年 8 月 3 1 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 押尾 幹

横芝光町監査委員 鈴木 唯夫

令和 2 年度横芝光町病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 2 年度横芝光町病院事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第1 審査の対象

令2年度 横芝光町病院事業会計決算

第2 審査の期間

令和3年8月20日

第3 審査の手続き

決算審査にあたっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

区 分		2年度	元年度	比較増減	
病 床 数		95 床	95 床	0 床	
	一 般	55 床	55 床	0 床	
	医療療養	40 床	40 床	0 床	
年 間 延 病 床 数		34,675 床	36,145 床	△ 1470 床	
	一 般	20,075 床	20,130 床	△ 55 床	
	医療療養	14,600 床	16,015 床	△ 1415 床	
診療日数	入 院	365 日	366 日	△ 1 日	
	外 来	235 日	238 日	△ 3 日	
延患者数	入 院	年 間	20,098 人	20,739 人	△ 641 人
		1 日平均	55.1 人	56.7 人	△ 1.6 人
	一 般	年 間	10,169 人	12,558 人	△ 2,389 人
		1 日平均	27.9 人	34.3 人	△ 6.5 人
	医療療養	年 間	9,929 人	8,181 人	1,748 人
		1 日平均	27.2 人	22.4 人	4.8 人
	外 来	年 間	33,872 人	38,804 人	△ 4,932 人
		1 日平均	144.1 人	163.0 人	△ 18.9 人
入院・外来延患者数		56,338 人	60,243 人	△ 3,905 人	
病 床 利 用 率		58.0 %	57.4 %	0.6 ポイント	
	一 般	50.7 %	62.4 %	△ 11.7 ポイント	
	医療療養	68.0 %	51.1 %	16.9 ポイント	
患者1人1日 当たり診療収入	入 院	29,015 円	27,254 円	1,761 円	
	外 来	8,438 円	7,006 円	1432 円	
医 業 収 益		949,367 千円	921,353 千円	28,014 千円	
医 業 費 用		1,487,044 千円	1,488,145 千円	△ 1,101 千円	
収 支 差 額		△ 537,677 千円	△ 566,792 千円	29,115 千円	

※1日平均の外来患者数は、各診療科目の診察日数で算出された1日平均の患者数の積算である。

※金額は、消費税及び地方消費税を含んだ数値である。

本年度の年間入院患者数は20,098人（1日平均55.1人）で、前年度と比べ641人（1日平均1.6人）の減少である。また、年間外来延べ患者数は33,872人（1日平均144.1人）で、4,932人（1日平均18.9人）の減少であり、病床利用率は58.0%で、前年度と比較して0.6ポイントの増加である。

患者1人当たりの診療収入は、入院で29,015円（対前年度比6.5%増）、外来で8,438円（対前年度比20.4%増）である。

2 決算状況

(1) 収益的収支及び支出

(収益的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
病院事業収益	千円 1,819,427	千円 1,580,963	千円 △ 238,464	% 86.9	% 84.6
医業収益	1,178,017	949,367	△ 228,650	80.6	76.9
訪問看護 ステーション収益	33,144	21,063	△ 12,081	63.5	43.7
医業外収益	577,065	577,933	868	100.2	100.1
特別収益	31,201	32,600	1,399	104.5	250850.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業収益は、予算現額 1,819,427 千円に対し、決算額は 1,580,963 千円（うち仮受消費税額 4,899 千円）である。予算現額に対する収入率は 86.9%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業費用	1,741,176	1,590,031	151,145	91.3	92.7
医業費用	1,621,624	1,487,044	134,580	91.7	93.1
訪問看護 ステーション費用	37,931	31,336	6,595	82.6	79.7
医業外費用	49,420	40,451	8,969	81.9	81.9
特別損失	31,201	31,200	1	99.9	0.0
予備費	1,000	0	1,000	0.0	0.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業費用は、予算現額 1,741,176 千円に対し、決算額は 1,590,031 千円（うち仮払消費税額 30,622 千円）である。

予算現額に対する執行率は 91.3%で、不用額は 151,145 千円である。

支出の主なものは、医業費用の給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	100,581	100,516	△ 65	99.9	99.9
企業債	12,500	12,500	0	100.0	100.0
出資金	31,421	31,421	0	100.0	100.0
補助金	56,660	56,595	△ 65	99.8	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 100,581 千円に対し、決算額は 100,516 千円である。予算現額に対する収入率は 99.9%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	142,562	135,172	7,390	94.8	98.8
建設改良費	89,892	82,503	7,389	91.8	97.6
企業債償還金	52,670	52,669	1	100.0	100.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 142,562 千円に対し、決算額は 135,172 千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 34,656 千円は、過年度分損益勘定留保資金から補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	病院事業収益 (総収益)		病院事業費用 (総費用)		差引額 (純利益)	総収支比率 A/B
	金 額	A 前年度比	金 額	B 前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
2年度	1,576,064	103.3	1,585,521	103.4	△ 9,457	99.4
元年度	1,525,399	101.2	1,532,896	101.0	△ 7,497	99.5

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の病院事業収益 (総収益) は 1,576,064 千円、病院事業費用 (総費用) は 1,585,521 千円で、本年度決算における純利益は△9,457 千円である。昨年度と比較して赤字額が増加した主な理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により受診を控える傾向が続いたこと、また、病床利用率が病棟改修前の水準に戻らなかったことにより赤字額が増えている状況にある。

(医業収益・医業費用)

区 分	医業収益		医業費用		差引額 (医業損失)	医業収支比率 A/B
	金 額	A 前年度比	金 額	B 前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
2年度	945,147	103.0	1,456,770	99.6	△ 511,623	64.9
元年度	917,281	93.0	1,462,064	98.8	△ 544,783	62.7

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

医業収益から医業費用を引くと、本年度の医業損失は 511,623 千円である。その損失を補填するため、他会計負担金などの医業外収益でこれを補ったものである。

なお、医業活動の成果を示す医業収支比率は 64.9% で、前年度と比較して 2.2 ポイントの増加である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目	2年度		元年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業収益	1,576,064	100.0	1,525,399	100.0	50,665	3.3
1 医業収益	945,147	60.0	917,281	60.2	27,866	3.0
2 訪問看護 ステーション収益	21,032	1.3	6,178	0.4	14,854	240.4
3 医業外収益	577,285	36.6	596,923	39.1	△ 19,638	△ 3.3
4 特別利益	32,600	2.1	5,017	0.3	27,583	549.8

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業収益は 1,576,064 千円で、前年度と比較して 50,665 千円 (3.3%) の増加である。これを科目別にみると、医業収益は 945,147 千円で、前年度と比較して 27,866 千円 (3.0%) の増加である。主な理由は、入院収益で前年度と比較して 17,931 千円

(3.2%)の増加、外来収益で前年度と比較して13,968千円(5.1%)の増加、特別利益については、医療従事者慰労金の収入増によるものである。

訪問看護ステーションの収益は、21,032千円で、令和元年10月に開設した事業であるため、前年度と比較して14,854千円(240.4%)の増加である。

医業外収益は577,285千円で、前年度と比較し19,638千円(3.3%)の減少である。主な理由は、町一般会計からの繰入金が前年度と比較して減となったことによるものである。

(3) 費用

(事業費用)

科 目	2年度		元年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業費用	1,585,521	100.0	1,532,896	100.0	52,625	3.4
1 医業費用	1,456,770	91.9	1,462,064	95.4	△ 5,294	△ 0.4
2 訪問看護 ステーション費用	31,198	2.0	16,885	1.1	14,313	84.8
3 医業外費用	66,353	4.2	53,947	3.5	12,406	23.0
4 特別損失	31,200	1.9	0	0.0	31,200	-

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業費用は1,585,521千円で、前年度と比較して52,625千円(3.4%)の増加である。

医業費用は1,456,770千円で、前年度と比較して5,294千円(0.4%)の減少である。主な理由は、給与費の減によるものである。

訪問看護ステーション費用は31,198千円で、令和元年10月に開設した事業であるため、前年度と比較して14,313千円(84.8%)の増加である。

医業外費用は66,353千円で、前年度と比較して12,406千円(23.0%)の増加である。主な理由は、令和元年度の病棟改修工事が終了したことにより長期前払い消費税償却が増加したことによるものである。

4 財政状態

(1) 資産の部

科 目	2年度		元年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定資産	2,769,802	90.1	2,869,664	89.3	△ 99,862	△ 3.5
2 流動資産	305,357	9.9	343,727	10.7	△ 38,370	△ 11.2
3 繰延勘定	-	-	-	-	-	-
資産合計	3,075,159	100.0	3,213,391	100.0	△ 138,232	△ 4.3

資産総額は3,075,159千円で前年度と比較して138,232千円(4.3%)の減少である。

(2) 負債資本の部

科 目	2年度		元年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	205,949	6.7	267,199	8.3	△ 61,250	△ 22.9
2 流動負債	196,587	6.4	272,167	8.5	△ 75,580	△ 27.8
3 繰延収益	1,032,083	33.6	1,024,028	31.9	8,055	0.8
負債合計	1,434,619	46.7	1,563,394	48.7	△ 128,775	△ 8.2
4 資本金	2,895,051	94.1	2,895,051	90.1	0	0.0
5 剰余金	△ 1,254,511	△ 40.8	△ 1,245,054	△ 38.8	△ 9,457	0.8
資本合計	1,640,540	53.3	1,649,997	51.3	△ 9,457	△ 0.6
負債資産合計	3,075,159	100.0	3,213,391	100.0	△ 138,232	△ 4.3

ア 負債の部

本年度の負債合計は1,434,619千円で、前年度と比較し128,775千円(8.2%)の減少である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は1,640,540千円で、前年度と比較して9,457千円(0.6%)の減少である。

(3) 財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	2年度	元年度	30年度
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本 (負債} + \text{資本)}} \times 100$	86.9	83.2	87.6
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	96.2	97.6	101.6
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	240.6	156.6	294.0

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいくほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は86.9%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は96.2%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は240.6%となっている。

むすび

本年度の入院の延べ患者数は20,098人(1日平均58.0人)で、前年度と比較して641人(1日平均1.6人)減少している。病床利用率は、一般病床が50.7%(前年度比11.7ポイント減少)、療養病床が68.0%(前年度比16.9ポイント増加)となっている。

また、外来延べ患者数は33,872人(1日平均144.1人)で、前年度と比較して4,932人(1日平均18.9人)減少している。

経営状況について消費税を除いた損益計算書でみると、収益では、収益の大宗を占める医業収益が前年度と比較して3.0%増加しているが、医業外収益は3.3%減少している。収益総額は50,665千円(3.3%)増加の1,576,064千円となっている。一方、費用は、前年度と比較して医業費用は0.4%減少しているが、医業外費用は23.0%増加している。費用総額は52,625千円(3.4%)増加の1,585,521千円で、総体的な収支は9,457千円の赤字である。なお、医業収支は、511,623千円の赤字であるが、前年度と比較して33,160千円の減額赤字である。

全国でも千葉県は医師・看護師不足が深刻化しており、中でも医療過疎とされる当地域の慢性的な医師・看護師不足は、診療の縮小や休止を余儀なくされるなど、病院経営はより一層厳しさを増している状況から、早急な対応が求められている。

当病院においては、医業収益は回復傾向にあるものの一般会計からの繰入もいまだに多額であることから、繰入金縮減に向けてなお一層の取り組みが必要である。

また、今後の2025年問題に向けた更なる超高齢化社会に対応するため、医師の確保が最重要課題であることから、町と連携を図りながら更なる努力を願いたい。

コロナ禍の影響もあり、自治体病院を取り巻く環境は非常に厳しいところであるが、各種経費の節減・抑制対策を適正に実施し、地域医療の拠点となるよう期待するものである。